



外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方

オキシドール

OXYDOL

オキシドール「ヤクハン」

使用期限(上段)、製造番号
(下段)は底面に記載

500mL

製造販売元
ヤクハン製薬株式会社

北海道北広島市北の里27番地
TEL&FAX 011-373-1097



キャップ: PP
容器: PE

改訂年月 | 2008年8月 | (新バーコード表示に伴う改訂等)

日本標準商品分類番号 | 872614 | 承認番号等 | 16000AMZ05365000 | (薬価基準収載)

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

【組成・性状】

1. 組成

本品は過酸化水素(H₂O₂)2.5~3.5w/v%を含む。添加物としてフェナセチンを含む。

2. 製剤の性状

本品は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。本品を放置するか、又は強く振り動かすとき、徐々に分解する。本品は酸化剤又は還元剤と接触するとき、速やかに分解する。本品はアルカリ性になると、激しく泡立って分解する。本品は光によって変化する。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
創傷・潰瘍の殺菌・消毒	原液のままあるいは2~3倍希釈して塗布・洗浄する。
外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症	原液のまま塗布、滴下あるいは2~10倍(耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄	原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。
口内炎の洗口	10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

長時間又は広範囲に使用しないこと。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1) **重大な副作用**
空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類、頻度	頻度不明
口腔	連用により口腔粘膜を刺激することがある。

3. 適用上の注意

- (1) **投与経路** 外用にのみ使用し、内服しないこと。
(2) **使用時**
- 1) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
 - 2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
 - 3) 深い創傷に使用する場合の希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

4. その他の注意

長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

<貯法> 遮光した気密容器に入れ、30℃以下で保存

GS1-RSS



(01)14987322133278

JAN



4 987322 133271

210238G